

平成16年5月7日  
農 林 水 産 省

## 第2回高病原性鳥インフルエンザ感染経路究明チーム検討会の概要について

### 1 日時

平成16年5月7日(金) 13:30～16:00

### 2 場所

農林水産省消費・安全局第4、5会議室

### 3 概要

各委員から、それぞれの担当分野の調査・研究の現状について報告され、主に以下の様な意見が出された。

- (1) それぞれの発生農場における人や物の移動に関する調査では、現在までのところ、感染経路であると考えられる事実は確認されていないが、調査項目が十分であるか等について引き続き検討することとされた。
- (2) ウイルスの遺伝子解析の結果、1例目から3例目までのそれぞれの発生農場で分離されたウイルスの相同性について議論され、引き続き検討することとされた。
- (3) 山口県、大分県及び京都府での発生農場周辺の野鳥から採材した検体から高病原性鳥インフルエンザウイルスや当該ウイルスに対する抗体は検出されなかった。このことは、野鳥が国外からウイルスを持ち込んだ可能性を否定するものではないが、少なくとも、発生地周辺の野鳥に本ウイルスが広くまん延していた可能性は低いものと考えられる。
- (4) いずれの発生農場においても野鳥の飛来が認められたことから、野鳥が農場の飼養鶏を感染させる可能性のある経路について引き続き検討することとされた。

#### 【問い合わせ先】

消費・安全局衛生管理課生産安全班

担当:小倉(内3202)、杉崎(内3220)

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL:03-3502-8111(代表)、03-3502-8206(直通)

FAX:03-3502-3385

参考

高病原性鳥インフルエンザ感染経路究明チーム委員名簿

【委員】

伊藤	としひろ 壽 啓	鳥取大学農学部獣医公衆衛生学教授
金井	ゆたか 裕	財団法人日本野鳥の会自然保護室主任研究員
地脇	準一	京都府南丹家畜保健衛生所長
塚本	健司	独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構 動物衛生研究所感染症研究部病原ウイルス研究室 主任研究官
筒井	俊之	独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構 動物衛生研究所疫学研究部予防疫学研究室長
寺門	のぶゆき 誠 致	独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構フェロー
水原	孝之	山口県中部家畜保健衛生所病性鑑定室主査
吉武	さとし 理	大分県農政部畜産課主幹兼衛生環境係長
米田	久美子	財団法人自然環境研究センター研究事業部上席研究員

【オブザーバー】

- ・文部科学省
- ・厚生労働省
- ・環境省
- ・食品安全委員会

\* 五十音順